

「Melody IC Factory」ユーザーズガイド

Version 2.0.0



はじめに

「Melody IC Factory」ユーザーズガイド(以下、本書)は、「メロディー時計」「Let's ピアノ 2」のメロディーデータを作成するためのソフトウェア「Melody IC Factory」(以下、本ソフトウェア)について基本的な機能を解説する資料です。

本ソフトウェアでは、曲を作り、「メロディー時計」「Let's ピアノ 2」で音を奏でる際に必要なメロディーデータを作成し、ヘッドホン端子よりデータを転送します。曲の作成は、画面上の鍵盤をクリックし、音の長さを指定することで簡単にできます。作成した曲の編集やテンポの変更ができます。

尚、本書及び本ソフトウェアは予告なく修正・変更される場合があります。

使用条件

- ・ 本ソフトウェアをコピーして再配布することは無償、有償を問わず禁じます。
- ・ 本ソフトウェアを逆アセンブル、ディコンパイル、リバースエンジニアリングまたはその他の方法で読みとり可能な形に変更することは禁じます。
- ・ 本書及び本ソフトウェアの使用、その他の的確性、正確性、信用性に関して明示的にも暗示的にも何ら保証するものではありません。また、本ソフトウェアのインストールまたは利用により被ったいかなる損害も保証、賠償いたしません。利用者の判断、責任において本ソフトウェアをご利用ください。
- ・ 本ソフトウェアに関するテクニカルサポート、保守、機能改善のいかなる技術的役務の提供義務も負いません。

動作環境

OS	Windows®XP , WindowsVista , Windows®7
CPU	PentiumⅢ 300MHz 以上
メモリ	128MB 以上
ハードディスク	10MB 以上の空き容量
ディスプレイ	SuperVGA(800×600)以上 Highcolor(16ビット)以上表示可能なディスプレイ
出力	ヘッドホン端子を装備していること

尚、使用者が使用する環境下で本ソフトウェアが問題なく動作することを保証するものではありません。

ご注意

本ソフトウェアはパソコンのヘッドホン端子からの信号を利用してデータを転送しますので、お使いのパソコンのヘッドホン信号出力部分が著しく劣化・消耗している場合には正常に転送が行われず場合があります。そのような症状が疑われるときは、別のパソコンでの動作確認・利用をお願いいたします。

本ソフトウェアにてパソコンから本体へプログラム(データ)を転送する場合、上手くいかない。または他のパソコンでは上手く転送できるのに、ある決まったパソコンからは転送できないといった症状が発生した場合、パソコンに内蔵されているヘッドホン信号出力部(音声回路/内蔵音声ボード/サウンドカード)がノイズを出しやすいことが原因の一つと考えられます。

そのような場合、市販の「USB オーディオ変換ケーブル」を利用して転送することで改善される場合があります。

※ 「USB オーディオ変換ケーブル」はパソコンショップなどでお求めください。

この変換ケーブルを利用することで、パソコン内部の音声回路を使用するのではなく、音声回路を外付けするというイメージになります。一般的にパソコン内部の音声回路はノイズが多いので、このようなケーブルを利用することで、ノイズを大幅に低減することができます。

ファイルの確認

インターネットからダウンロードした場合、圧縮ファイルを解凍します。

解凍後のフォルダには以下のファイルが入っています。

- ・ MelodyICFactory ユーザーズガイド.pdf (このファイルです)
- ・ MelodyICFactory.exe
- ・ ファイル名.ekm (サンプルメロディー 12 曲)

起動方法

「Melody IC Factory.exe」をダブルクリックすると、ソフトウェアが起動します。



Melody IC Factory.exe

※お使いのパソコンの設定によっては、
「Melody IC Factory」とだけ
表示されることもあります。

お使いのパソコンの OS が Windows Vista／7の場合

お使いのパソコンが Windows Vista／7の場合、
ダブルクリック後に下図のようなエラーメッセージが出て
起動しない場合があります。

表示されるエラーメッセージ→

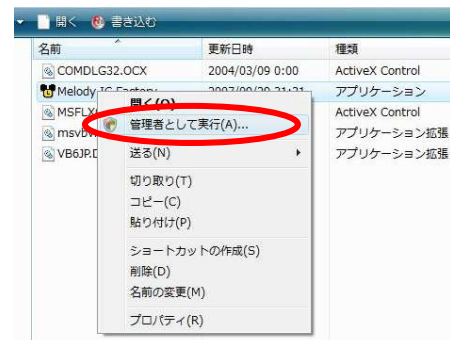


このような場合は「管理者として実行」を行うことでソフトを起動
することができます。

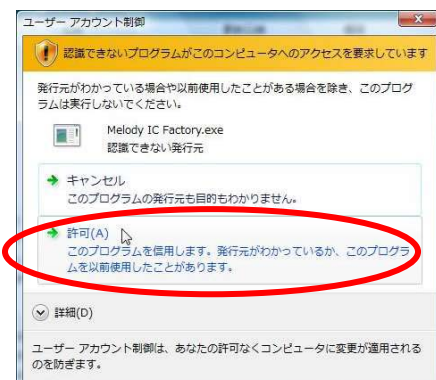
※これは最初に一度だけ行えば、次回からはダブルクリックだけで起動できるようになります。

【管理者として実行する方法】

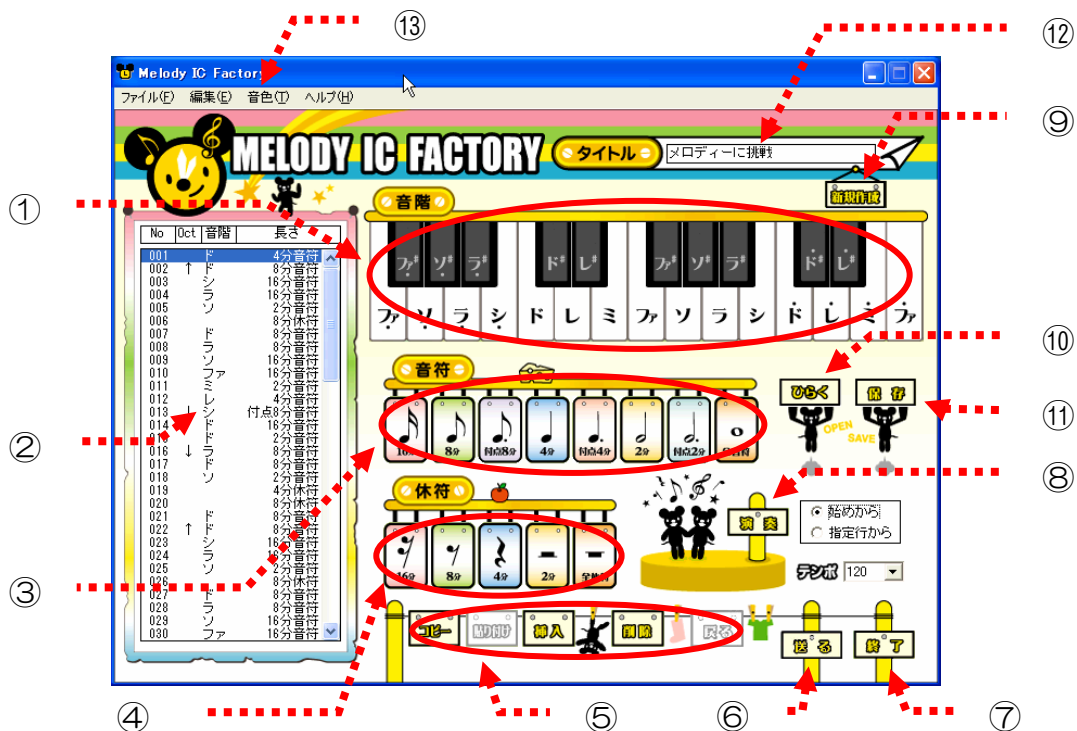
1. Melody IC Factory.exe のファイル名の上にポインタを合わせて、
右クリックすると右図のようなメニューが表れます。メニュー
の中から、「管理者として実行」を選んでクリックします。



2. 許可を求めるメッセージが表れますので、
許可をクリックします。



起動画面説明



①	鍵盤	鍵盤部分を選択すると、表示されている音階の音が鳴ります。 選択された音階は②のテキストエリアに表示されます。
②	テキストエリア	①で選択した音階や③で選択した音符、④の休符が表示されます。
③	音符	音の長さを指定します。
④	休符	休みの長さを指定します。
⑤	編集	②のテキストエリア内のデータに、選択範囲のコピー、挿入貼り付け、空行挿入、 選択範囲の削除を行います。
⑥	送る	送るボタンをクリックすると、メロディー時計/Let'sピアノ2へ転送するための転送データ音が再生(出力)されます。 ※転送できるデータは127音になっています。
⑦	終了	アプリケーションを終了します。
⑧	演奏	演奏ボタンを押すと、②のテキストエリアに登録した音が演奏できます。演奏開始場所の指定・テンポの指定が可能です。
⑨	新規作成	②のテキストエリアを白紙にします。
⑩	ひらく	ひらくボタンで保存した曲を読み込みます。
⑪	保存	保存ボタンで作成した曲を保存します。
⑫	タイトル入力エリア	作成した曲のタイトルを入力します。既存ファイルを開いた場合は、読み込んだ曲のタイトルが表示されます。
⑬	音色	ピープ音の他に、ピアノなどの様々な音色で作成した曲をパソコン上で聴くことができます。 ※パソコン上で聴く音色と、メロディー時計、Let'sピアノ2で再生できる音は異なります。あらかじめご了承ください。

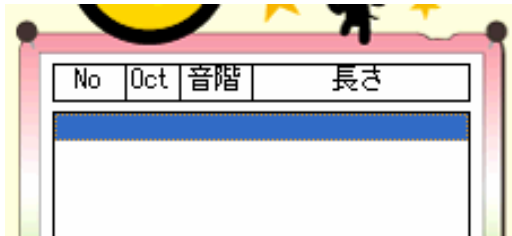
操作手順

1) タイトルの入力



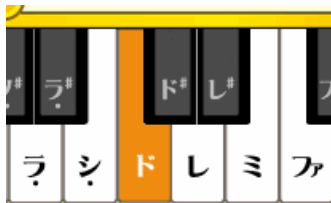
タイトルをつけます。
(必須ではありません)

2) テキストエリアの入力したい行がアクティブになっている(色がついている)ことを確認します。



3) 音データを入力します。

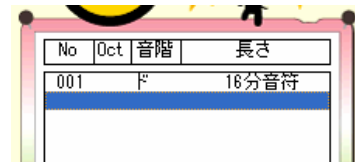
「音符」を入力する場合 >>>



鍵盤部分を選択します。
選択された鍵盤がオレンジ色になります。
(休符を入力する場合は選択する必要はありません。)



音符部分を選択します。



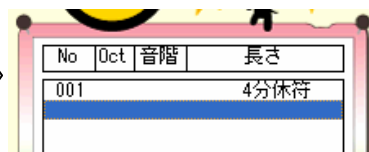
音階と長さが確定し、テキストエリアに表示されます。
音符は、音階と長さを両方選択していないとエラーになります。



「休符」を入力する場合 >>>



休符部分を選択します。



選択した休符がテキストエリアに表示されます。
休符は、長さのみで確定します。

※選択した音階や長さは、すぐにテキストエリアに表示されます。
※行が確定すると自動的に次の行がアクティブになります。

※ご注意
ソフトの画面上では 500 音まで入力できますが、メロディー時計/Let's ピアノ 2 へのデータの送信は 127 音までとなっています。

4) 送る



「送る」ボタンをクリックすると、メロディー時計/Let'ピアノ 2 へ転送するための転送データ音が作成され、さらに OK ボタンを押すと、音が再生(出力)されます。

※メニューバーからも実行可能です。

5) 保存



「保存」ボタンをクリックし、保存します。

※メニューバーからも実行可能です。

6) 終了



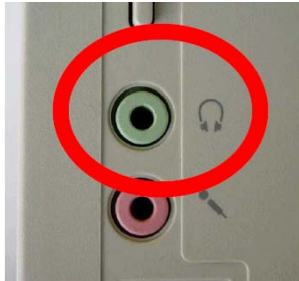
「終了」ボタンをクリックし、終了します。

※メニューバーからも実行可能です。

メロディーデータ転送手順

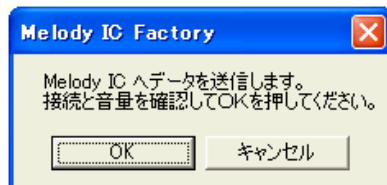
メロディー時計に転送する

1. パソコンのヘッドホン端子とメロディー時計のステレオミニジャックを、転送用コードで接続します。
転送用コードはしっかり最後まで差し込んでください。



2. メロディー時計のアラーム用スライドスイッチを ON の状態にします。
※このときにメロディー時計がアラーム動作を行っている（メロディーが流れている）場合は、アラーム設定用ツマミを回してメロディーが流れていない状態にします。

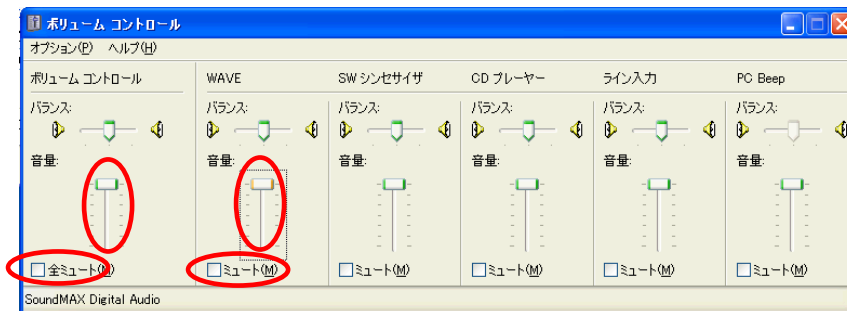
3. 「送る」をクリックすると、下図のようなメッセージが表示されます。
パソコンの音量を確認して OK ボタンを押します。



4. 転送が完了すると、メロディー時計のスピーカから完了を示す音「プーピッ」が鳴り、同時に緑色の LED が点滅します。転送が失敗した場合はエラーを示す音「ピピプープー」が鳴り、同時に赤色の LED が点滅します。また、「Melody IC Factory」の画面上では転送が終了しても、メロディー時計から何も音がしない場合は転送が失敗しています。転送が失敗したときや、エラーの場合は、再度(2)からやり直してください。
※メロディーデータが転送されたことを確認するため、メロディー時計のアラームを鳴らしてみましょう。

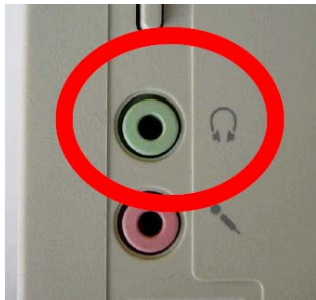
※パソコンの音量を確認してください。

- ・機械的なボリュームがついているパソコンの場合は忘れずにボリュームを調整してください。
- ・ボリュームコントロールを最大にしてください。全ミュートをチェックしている場合はチェックをはずします。
- ・WAVE を最大にしてください。ミュートにチェックしている場合はチェックをはずします。

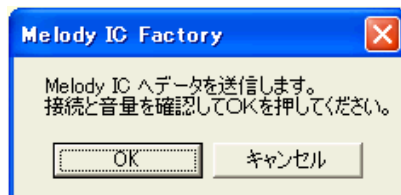


Let's ピアノ2に転送する

1. パソコンのヘッドホン端子と Let's ピアノ 2 のステレオミニジャックを、転送用コードで接続します。
転送用コードはしっかり最後まで差し込んでください。



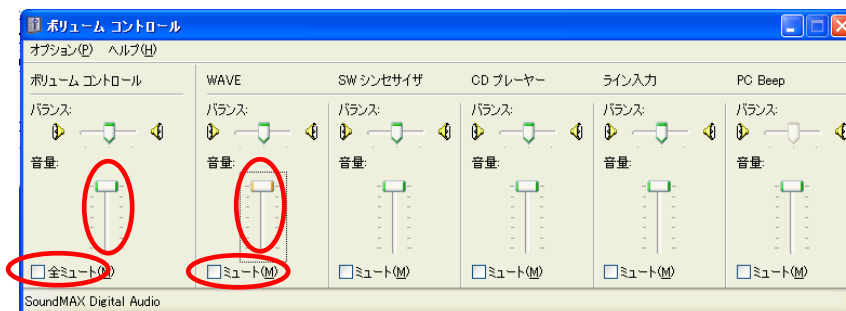
2. ピアノアームを立ててスイッチ ON の状態にします。
3. Let's ピアノ 2 の「MODE」キーを 3 秒以上押し、データ入力モードにします。データ入力モードになると、赤と青の発光ダイオードが交互に点滅を始めます。赤と青の発光ダイオードが点滅し始めると「MODE」キーから指をはなしても OK です。
4. 「Melody IC Factory」画面上的「送る」をクリックすると、下図のようなメッセージが表示されます。
パソコンの音量を確認して OK ボタンを押します。



5. 転送が完了すると、Let's ピアノ 2 のスピーカから正しく転送された音の「プーピピ」が流れます。転送がうまくできない場合は、スピーカからエラー音の「ピピプープー」が流れます。また、「Melody IC Factory」の画面の上では転送が終了しているにもかかわらず、Let's ピアノ 2 から何も音がしない場合も転送が失敗しています。転送が失敗したときや、エラーの場合は、再度(3)からやり直してください。
6. メロディーデータが転送されたことを確認するため、Let's ピアノ 2 をメロディーモードにします。その後で、白鍵の re#(↑)を押して転送されたメロディーが演奏されるかを確認しておきましょう。

※パソコンの音量を確認してください。

- ・機械的なボリュームがついているパソコンの場合は忘れずにボリュームを調整してください。
- ・ボリュームコントロールを最大にしてください。全ミュートをチェックしている場合はチェックをはずします。
- ・WAVE を最大にしてください。ミュートにチェックしている場合はチェックをはずします。



WindowsXP をご使用になられている場合

よくある質問と答え

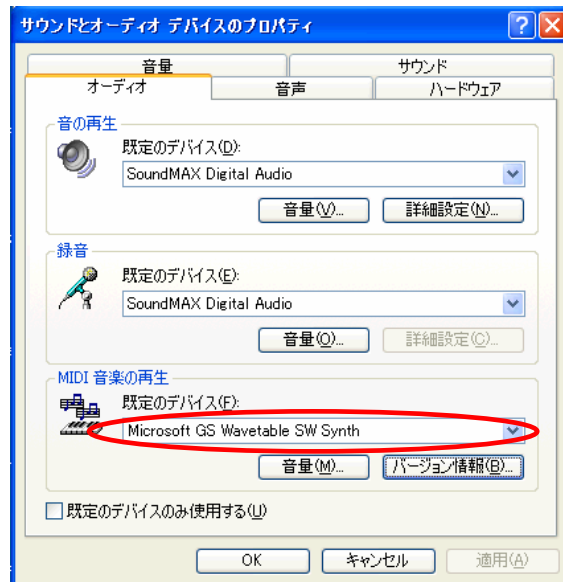
Q1. 「Melody IC Factory」画面上の鍵盤を押してもパソコンのスピーカから音が出ません

A1. 下記の事項を確認してください

- ・ スピーカの音量が小さくなっていませんか？
- ・ ヘッドホン端子にケーブルが接続されていませんか？
- ・ コントロールパネルのサウンド、もしくはボリュームコントロールが小さくなっていませんか？
- ・ サウンドカードが装着されていますか？
- ・ 下記の手順で MIDI を確認してみてください。

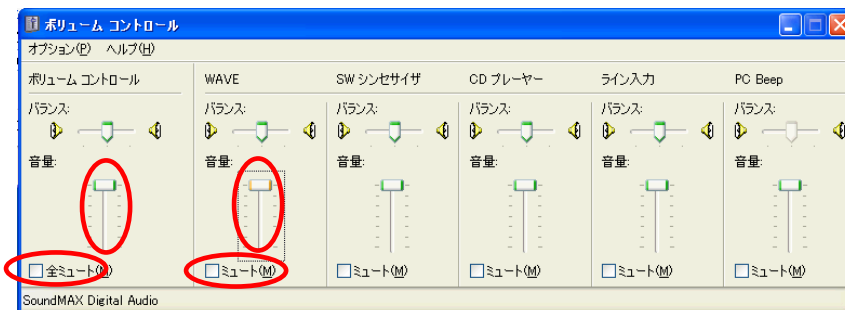
「コントロールパネル」の中の「サウンドとオーディオデバイス」の「オーディオ」タブを開きます。

「MIDI 音楽の再生」で「Microsoft～」などの内部 MIDI になっていることを確認してください



Q2. メロディー時計/Let's ピアノ 2 にデータが転送できません。

A2. パソコンのヘッドホン端子とメロディー時計/Let's ピアノ 2 のジャックに転送用コードがちゃんと奥まで差し込まれていますか？ ボリュームが小さくなっていませんか？ また、ミュートにチェックを入れていませんか？



Windows Vista／7をご使用になられている場合

よくある質問と答え

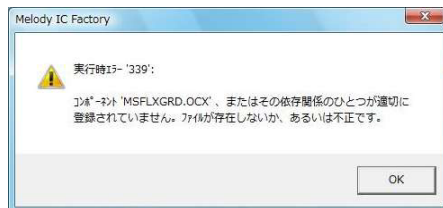
Q1. 「Melody IC Factory」画面上の鍵盤を押してもパソコンのスピーカから音が出ません

A1. 下記の事項を確認してください

- ・ スピーカの音量が小さくなっていませんか？
- ・ ヘッドホン端子にケーブルが接続されていませんか？
- ・ コントロールパネルのサウンド、もしくはボリュームコントロールが小さくなっていませんか？



Q2. 下図のようなエラーがでます。



A2. 本書の4ページに従って、管理者として実行してみてください。